

議会 だより

No.
155

町議会6月定例会

- 2 6月定例会
- 3 主な議決事項
- 4 一般質問
- 7 本会議の質疑から
- 8 視察報告



平成21年度から分別・回収が始まったダンボール、古紙、雑誌、古着。左はダンボールをプレスする機械

第二回八丈町定例議会開催

6月8日、第二回定例会が開催されました。一般質問では、4名の議員が登壇しました。



6月定例議会の様子

大型公共工事契約つぎつぎと…

建設が予定されている新庁舎と南原スポーツ公園野球場について、工事請負契約が承認されました。いずれも5〜8社の入札があったことや、工事内容についての説明がありました。これより先に、坂上保育園、汚泥再生処理センター、管理型最終処分場の工事が始まっており、このように大型公共工事が続くことはかつてないことです。議員からは、施設の維持費が将来の町の重荷にならないよう今から計画しておくべきだとの指摘がありました。

新庁舎の造成

予定地の奥にコキクガシラ
コウモリの生息が確認された
ため造成部分が変更されました。
予定されていた駐車場の
スペースが数十台分少なくな
り、町は数年内にこのスペー
スの確保を実現したいとの意
向を示しています。
造成工事の契約金額は約1
億円。

庁舎建設費の総額は約35億
円。これまで積み立ててきた
基金は現在17億円ですが、町
は基金の組み替えや積み増し
で更に増額することを目指し

ています。また、住民の負担
を軽減するため、起債（借金）
の意向も示されました。



現在造成中の役場新庁舎建設予定地

野球場

約金額は約4億4千万円。スタンド等建築については約1億円。

南原スポーツ公園の天然芝の維持にかなりの経費がかかっていることから、野球場は人工芝になります。観客席は140席を確保。トイレのほか、審判員室、放送室、選手控え室も整備され、3年後の国体開催に向けて、本格的な野球場がつくられることになります。グラウンド工事の契

議会では、雨の多い地域性を考慮し、グラウンドの雨対策や雨天時の練習場の必要性を訴える意見が出されました。今後、この施設をどう利用していくのかについても議論されましたが、島外からの誘致も含め、施設維持費に見合う利用を充実させていくために今から対策を考えていかなければなりません。



造成中の南原スポーツ公園野球場

議会議員改選月の報酬を日割りにする条例

— 6月議会で可決

今年10月に議会議員選挙が行われます。現職は今年10月24日まで、新たに当選した議員の任期は10月25日から4年間となっています。

これまで選挙の行われた月については、選挙前の現職議員に10月分の報酬が支給され、改選後新たに当選した議

員にも同様に支給されてきました。

しかし、新人議員については就任からわずか5日の在職日数であるにもかかわらず、1ヶ月分の報酬が支給されるのは公正ではないという指摘がされていました。

この矛盾を是正する必要が

あるとの認識から、議員提案で、「八丈町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例」が提出され、全員賛成で可決されました。

この結果、「報酬は、就職した月にあつてはその就職した日から日割りによって計算した額、任期満了や議会の解散によりその職を離れたときは、その日の分までの報酬を日割りによって計算した額を支給する」こととなります。

6月議会主な議決事項

- 専決処分事項の報告及び承認についてほか専決処分3件
- 平成21年度八丈町一般会計繰越明許費繰越額の報告について
- 平成22年度八丈町一般会計補正予算
- 八丈町長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例 ほか条例改正2件
- 八丈町新庁舎及び集会施設建設工事に伴う造成工事請負契約 ほか契約4件
- 町道の路線の廃止について
- 八丈町議会議員の報酬、期末手当及び費用弁償支給条例
- 東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙における候補者の推薦について

ふれあいの湯の洗い場を増築し、蛇口を増やす考えはないか

答 現段階での増築はできない。間隔を狭めた蛇口の増設は可能だと思うが…



山下松邦 議員

◆所要時間 3分

質 問 檜立向里温泉ふれあいの湯は、立地の良さや夜10時まで入浴ができることから利用者が多い。

この状況の下、洗い場のスペースも狭く、蛇口は5コと少ないため混雑するので蛇口の増設などを求める声を多く聞く。

今後、洗い場の増築や蛇口の増設をする考えはないか。

答 笹本 重喜 健康課長

ふれあいの湯は、町営温泉で一番利用されていて、昨年度7万3千人の利用者があった。確かに蛇口が少ないことや洗い場の狭さは認識してい

るが、庁舎や汚泥再生処理センターなどの大型建設事業を控え、町財政が厳しくなるため、大規模な改修が必要となる増築は現段階ではできないと考える。

大規模改修を避け蛇口を増設するには、1m間隔を85間隔に狭めて、男女とも2カ所増設も可能ではあるが、それに伴ったボイラー増設、配管の引き直しなどにかかる予算が課題。取り組む際は利用者の意見を聞きながら、対応していきたい。



檜立向里温泉ふれあいの湯

汚泥再生処理センター完成後の運営は

答 初年度のランニングコストは、6735万円と試算



菊池綾子 議員

◆所要時間 21分

質 問 平成24年度供用開始を目指す汚泥再生処理センターの建設が進められているが、完成後運営準備について、次のことを問う。

①ランニングコストとその中身は。②し尿処理の委託料は、今後どうするのか。③住民の負担となる使用料等の試算はしているか。

答 菊池良企画財政課主幹

①初年度は、電力費1785万円、用水費175万円、維持管理補修費2300万円、備品消耗品費44万円、法定・定期点検費131万円、人件費2300万円、6735万円を試算している。センター稼動から3年間は使用する薬品代を負担する契約になっているが、4年後に契約を

イターンの者の受け入れ策を

答 定住対策住宅は町単独で整備となるが、複数の大型事業を控えている現状ではできない

質 問 八丈島に住み仕事

がしたいというイターンの者のために低家賃の住宅整備や民間の空き家を町が管理しながら貸出しを行う考えはないか。

答 和田一宏 建設課主幹

町営住宅は国からの交付金

畜産および酪農の存続について町の見解を問う

答 新規参入者向けには、酪農・畜産家ヘルパー研修などの受け入れ体制の整備が必要

と都の補助金で建設されている。公営住宅法によって整備運営を行っているので、町で勝手に家賃を設定できない。また、定住のための住宅整備は、町単独の事業となつてしまうので、大型事業が目白押し。現状では整備できない。空き家に関しても、民間活力により貸し借りが行われているので、町での空き家管理は検討していない。

その後段階的に施設整備、技術指導などに関係機関と連携して支援したいと考える。

再質問 島外者にとっては定住の壁は厚いので、住宅の優遇策や他の農業者と同様の支援体制がつかれないか。

答 奥山 拓 産業観光課長
既存の農家の協力があれば可能と考える。

島の景観を維持するために石垣を積極的に取り入れる努力を

答 町単独で行う事業については積極的に取り入れたい

質問 今、全国的に観光が低迷する中、観光客で賑わっている所は、その土地独特の歴史や食べ物や自然景観が守られていることがある。八丈島の守るべき多くの観光資源のなかで、玉石垣と同様に島の独特の景観をつくっている石垣は注目するに値する。自然石を利用した石垣は島の町並みとしてふさわしく、積極的に残してほしいと思ひ、次のことについて問う。

① 公共事業を行う場合、周囲の景観を損わないようにできるだけ石垣を敷設する考えはあるか。
② 個人が新しく施工する場合や施工しなおす場合に工事を一部負担するなどして、町の景観づくりを進める考えはあるか。

答 佐々木眞理 企画財政課長
国庫補助や都補助の公共事業については補助事業の場合細かな審査があり、コスト面から取り入れられないこともあるが、町単独で行う事業については積極的に採用したいと考えている。個人が施工する場合は、災害復旧の場合と同様、公共性の観点から町の補助は考えておりません。

奥山 幸子 議員



◆所要時間 21分

質問 農協の牛乳工場が閉鎖されるのを機に、町は農家に対し畜産への転換を促した。酪農家は2軒に減少した一方、民間会社により牛乳工場は継続され、学校給食への参入の実現や新しい商品開発などにより将来への展望も見えてきた。食育や地産地消や地域の雇用に貢献している現状を踏まえ、今後の畜産酪農の発展のために、町の対策・支援が必要だと思ふ。

後継者を育てる観点から新規参入が可能になるような条件を整備する必要があると思ふが、町はどのように考えているか。

答 奥山 拓 産業観光課長



ふれあい牧場に放牧されている牛

酪農・畜産の新規参入は、初期投資がかかり経済的負担は大きいと思われる。まずは定住してもらい、既存の酪農家などの協力によりヘルパー研修などの受け入れ体制をつくり技術を修得してほしい。



自然石を使用した石垣

リハビリテーションの現状と課題は

答 理学療法は医療保険の方、介護保険の方と分担して対応している



菊池 陸男 議員

◆所要時間 50分

質問 町立病院におけるリハビリの対象者数を把握し、現状をどのように分析し、課題や問題点をとらえているか。

答 福田 高峰 病院事務長
町立病院では5月の実績として、機械を使用する物理療法、理学療法士が相対する個別療法というリハビリで95名が533回のリハビリを行った。

島内には町立病院のほかに、老人ホームに理学療法士が1名いて、医療保険が適用される人は町立病院、介護保険が適用できる人は老人ホームで対応するというケースが多い。

高齢化が進む中、課題として、住民へ病気や転倒事故などの予防啓発などしていかななくてはならないと考えている。



ジェネリック薬品の普及率向上を図れ！

答 同等性、安全性、有効性を審議して採用を決定している

質問 年々高くなっていく医療費を節減や、患者の負担を抑制するためにもジェネリック薬品の利用を高めていく必要があると思うが、町立病院における普及率を検証し、院内会議や薬事委員会などのように議論されているか明らかにされたい。

答 福田 高峰 病院事務長
町立病院のジェネリック薬品の普及率は平成21年度は7%で現在も7%前後を推移している。薬事委員会ではジェネリック薬品の品目について、同等性、安全性、有効性を考慮し、先発品から変更しても問題がないかを随時審議したうえで採用している。しかし、医療の低下を招く①臨床データが少ない、②品目によっては先発品と同じと

いいながら同等性が確保されていない、③町立病院では臨時診療を含め、医師の交代が激しいため医師側で対応できない、④薬の変更により患者の不安を招く心配がある、⑤製造メーカーが情報を提供しない、⑥メーカーの都合で突然供給がストップするとして、離島で安全で安定した薬品の供給をするためには、デメリットが多いため普及率にすぐにつながらない。

このような理由から、目標としては10%くらいを考えている。

「汚泥再生処理センター整備に関わる永郷地区要望書」の進捗状況を問う

答 永郷地区の携帯電話不感地域に新たなアンテナ塔の設置計画を進めている

質問 汚泥再生処理センターの整備にあたり、大賀郷永郷地区ではインフラの整備を含めた要望書を提出しているが、都道の未整備部分の早急な整備などのほか、携帯電話の不感地帯の解消について、どのように取り組んでいるか。

答 和田 一宏 建設課主幹
要望書にある大賀郷永郷のナズマド入り口付近の都道については、地権者が分かっているのに都へ整備を要望することは可能であるが、三根永郷の生コン工場付近とアカサリ上の都道2ヶ所については白地と筆界未定地が存在するため分筆・買収できず、町として都へ要望していくことは難しい。

答 菊池良企画財政課主幹
携帯電話の不感解消については、伊豆諸島全体の共通の問題でもあり、所属する団体を通して、国や都に対して要望している。先日、NTTドコモより、「現在、永郷地区の不感地域に新たな新たなアンテナ塔を建てるため、用地選定を行う予定」という説明があった。

こんな質問もしました

質問 新政権の国家予算が地方財政に及ぼす影響は

答 22年度は普通交付税が前年度比1億円増額している。地方交付税法等の改正があったので7月上旬に額が確定する。詳細は9月議会で説明したい

本会議の質疑から

国保の滞納額



奥山博文議員

21年度末で国保の滞納額は1億5500万円となったが、この額を単純に人口で割り充てると一人2万円弱となる。

徴収で努力しているのは理解しているが、滞納を増やさないよう、住民側に啓発していくことも重要だと思いが。

税務課長 今年度新たに始めた滞納対策で19年度、20年度と比較しても滞納額の伸びは、10分の1ほどに抑えられたと思う。会社の社長に協力をいただくようお願いするなど継続して新たな滞納者を増

やさないように対策を講じていく。

子ども手当支給を機会に

奥山幸子議員

子ども手当が支給されるが、富山県朝日町では現金支給をして、直談判で給食費や保育料の滞納の解決に取り組んでいる。

町も同様に取り組んではどうか。



住民課長 子ども手当で支給の通知には、「子どもに関することにこの手当てを使おう」ということ、給食費や保育料などと明記はしていないが、未納があるのに受け取ること、法の趣旨に反しています」という一文を添えている。また、滞納のある方には窓口で現金支給をお願いして現金受取後に納付するような形を取っている。

降水量の多い島に対応した野球場か



土屋博議員

八丈島は年間3000ミリを超える多雨の島であり、雨が降っても翌日は使えるような、水はけの良いグラウンドになっているか。

教育課長 人工芝の下に浸透溝、浸透枳を設置し、雨水の約70〜80%が浸透できるよう計画している。

国体後の野球場は

菊池睦男議員

国民体育大会終了後、例えばプロ野球のキャンプ地として使用できる規格になっているか。

教育課長 グラウンドの規格は第1種となっていて、練習場としてサイズの条件はクリアできている。

成制度を設置している市区町村がある。

わが町も早急に進める必要があると思うが、町の考えは。健康課長 小学6年生から中学2年生までを対象にワクチンを接種した場合助成をする自治体に対して、その助成額の2分の1を都が補助することになっている。来年の実施に向け検討している。

病院事務長 先日の新聞報道などを見て、病院としても取り組むべきであろうということと話題になった。ぜひとも取り組んでいきたい。

子宮頸がん

子宮入り口付近にできるがんを子宮頸がんといいます。子宮頸がんの原因となりやすいウイルスに対する抗体をつくらせるワクチンが、平成21年10月に日本でも承認され、12月からワクチンの接種が一般の病院で可能になりました。

子宮頸がんの予防接種に助成を

奥山博文議員

子宮頸がんの予防接種に助

行政視察レポート

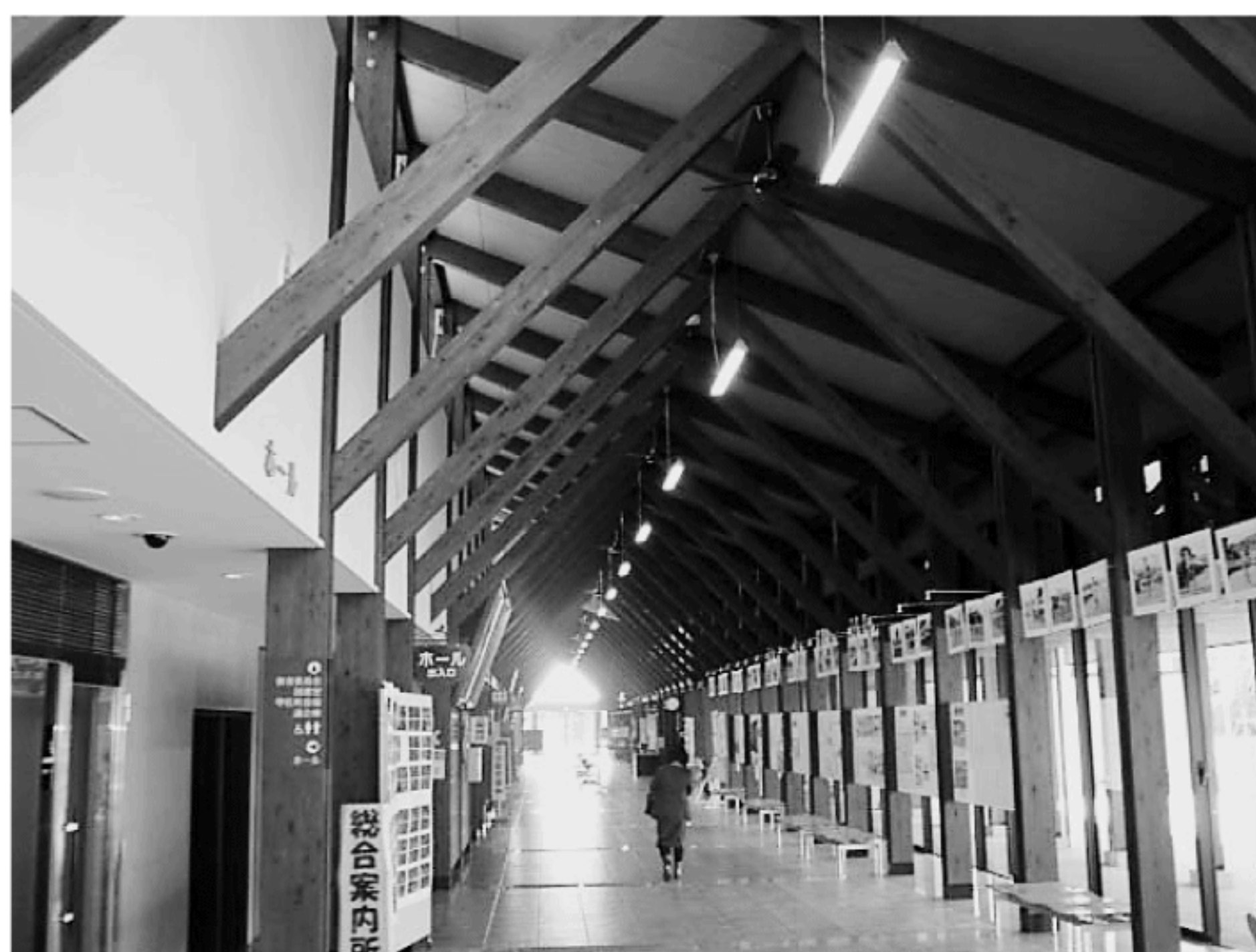
期間
平成22年
2月8～10日

視察者
菊池 綾子
奥山 幸子
奥山 博文
田村 六郎



熊本県 甲佐町

熊本県のほぼ中央にある甲佐町は九州山地の山すその人口約1万1600人の静かな町です。庁舎は木のぬくもりのある開放的な建物で一階



甲佐町役場

に図書館もあり、入りやすく、とてもあたたかさを感じさせました。平成17年から「生き残りには思い切った行革が必要」と行財政改革に取り組み、5年間で職員数を140人から110人に削減、町長初め特別職・一般職の給与の10%カット、職員定数も16人から12人に減らし、町

立幼稚園の廃園、老人ホーム、保育所、給食センター業務の民営化などで役場のスリム化を徹底して成果を上げています。その一方で住民サービスを高める工夫も始め、全職員が交代で休日出勤し、証明書発行など窓口の休日営業もスタート。「自分の係の仕事だけやっていたらいい時代は終わった」という町長のことは通り日常業務でも、忙しい課には他の課の職員が応援に出向き仕事をしていま



大分県 日田市

す。真似することが全てではありません。せんが、見習うことはとても重要で、

わが町の職員研修の必要性も感じました。

大分県日田市バイオマス資源化センターは他の自治体からの視察が相次いでいる注目の施設です。恵まれた自然風土を背景に農畜産業や製材業、醸造業など水産業が盛んな人口7万3000人の市です。それらの産業から排出される家畜排せつ物や木質系廃棄物をゴミとせず資源として活かし、地球温暖化、焼却によるダイオキシン削減対策を踏まえ、平成18年4月からメ



バイオマス資源化センター

タン発酵発電施設の稼働を開始しました。たぐさんの問題を抱えながらもバイオガス発電量で施設内の電力をすべて賄えるという結果を出しています。各家庭の生ごみももちろん対象で、市では、ゴミ辞典を全世帯に配布し、16種類の分別排

出を行っている、市民の環境問題への関心や意識も高まっているとのことです。八丈町でもゴミ有料化に向けての勉強会の中で学べる事が多くあると感じました。



大分県 国東市

大分県の国東市は海や山の豊かな自然に生まれ、歴史的遺産が数多く残されています。くにさき総合文化センターは東国東広域連合（4町合併）で平成18年に38億6千万円で建設され、二つのホール、スタジオ、会議室、図書館などがたくさん取り込まれています。八丈町でこれから建設される集会施設と設計業者が同じということもあり、大変興味深く

くにさき総合文化センター アストホール (愛称：アストくにさき)



建築場所 大分県国東市国東町鶴川160番地2
事業主体 国東市
敷地面積 約13640平方m
延床面積 6868平方m
構造 鉄筋造、一部鉄骨造
総事業費 約38億6千万円
(<http://web.city.kunisaki.oita.jp/shougaigakushuka/asuto/index.jsp>より)

視察することができました。稼働率、使用料金、管理維持費等、いろいろ質問する中で、八丈町の今後の課題が大きく見えてきました。運営の面で、行政と住民相互の協力と理解が必要です。町でも地道な話し合いをたくさん持つてもらいたいと思いました。

報告者 菊池 綾子

平成22年度 東京都町村議会議員講演会レポート

東京都町村議会議長会が主催する毎年恒例の東京都町村議会議員講演会が5月13日、フロラシオン青山にて開催された。講師は民俗研究家の結城登美雄氏、演題は「よい地域であるための7つの条件」。

学び得た「地元学」。行政の基本とは何であるかを出席した多くの議員が学んだと思う。

報告者 佐々木 治

「よい地域の7つ条件」①よい仕事場があること、②よい居住環境があること、③よい文化があること、④よい学びの場があること、⑤よい仲間がいること、⑥よい自然風土があること、⑦よい行政があること。

講師自身が実際に小さな農山村の住民と接しながら



議員講演会の様子

町ナビ

八丈町や商工会、観光協会などで結成した八丈島活性化協議会(浅沼孝彦会長)が、風力発電エネルギーで充電した電動アシスト付自転車を観光客に貸し出す「島チャリ」事業をスタートした。町役場前駐車場の一角には風車と充電施設、駐輪場が整備され、7月1日、関係者によるテープカットが行われた。1回の充電による走行距離は約20*。新たな島の観光メニューとして期待される。



次回の定例会は
9月に開かれます。
皆さまの傍聴を
お待ちしております。

編|集|後|記

第二回八丈町議会定例会が、6月8日に開催され新庁舎建設等の予算が審議された。八丈町の大型公共事業のスタートである。

その一方で、長年八丈島の観光名所として親しまれてきた名古の展望が閉鎖するという報告があったが、今後は町が引き継いで運営することとなった。

そもそも観光資源とは、その地に根付いたものであり、人々が認めたものでなければなら

ない。牛角力、流人まつりといった島の人々と観光客が一体となる場が必要なのである。

新庁舎、管理型最終処分場、汚泥再生処理センター、南原スポーツ公園などの公共施設が観光資源と成り得るかは別として、多くの行政関係者が視察に訪れることは十分考えられる。観光資源の少ないこの島にとって、これらの公共施設が観光対策の起爆剤となってほしいと考えるこの頃である。(〇)

発行人 八丈町議会議長 沖山宗春
編集 議会だより編集委員会
委員 佐々木治 奥山幸子
田村六郎